

提 案 概 要

(年長者研修大学校・北九州穴生ドーム 指定管理者)

団体名：社会福祉法人北九州市社会福祉協議会

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p>【理 念】 多彩な学びの提供と“しあわせアクティブシニア”の育成により 北九州を共創する</p> <p>【基本方針】 ① 輝き続ける“しあわせシニア”の育成 ～貢献長寿～</p> <p>② 生きることが楽しみになる学びの場と活動機会の創出 ～健康長寿～</p> <p>③ 人や社会とつながる居心地のいい場所づくり ～新たなつながりの創出～</p>
(2) 安定的な人的基盤や財産基盤
<p>【人的基盤】</p> <p>常勤職員 179 人、非常勤職員 378 人、計 557 人の職員を擁し、うち 300 人を超える職員が、社会福祉士や社会福祉主事等の福祉関係の専門資格を有しており、福祉協力員や民生委員・児童委員などの地域福祉活動者をサポートしながら、本市の地域福祉活動の中核を担っています。</p> <p>【財政基盤】</p> <p>平成 31 年に市・区社会福祉協議会の法人統合を行ったことで、安定した財務運営を行っています。令和 5 年度決算における純資産額は、14 億 3,929 万 5 千円となっており、直近 5 年間における純資産も 14 億円以上で維持しています。また、期末の支払資金についても、2 億 7,054 万 2 千円を確保しており、資金繰りも安定しています。</p>
(3) 実績や経験など
<p>本会は、周望学舎（S54 年）と、穴生学舎及び穴生ドーム（H6 年）の開設当初から委託を受けるとともに、指定管理制度が導入された平成 18 年度以降の第 1 期から第 4 期まで、18 年間にわたり継続的に適正に、管理運営を行ってきた実績とノウハウがあります。</p> <p>また、「北九州市立福祉会館・戸畑市民会館（ウェルとばた）」の管理運営も開設当初から行っており、施設の管理運営に関し、専門的な知識と十分な実績と経験を有しています。</p>

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
<p>両学舎では、高齢者ができる限り健康長寿で地域の活力となり、地域貢献活動に結び付けていく仕組みづくりと、高齢者がデジタル社会に取り残されないための IT 講座や多様な学びの場の提供により、シニア世代の活力を地域の活性化に繋げる人材育成に努めます。</p> <p>穴生ドームにおいては、高齢者を中心とした市民の健康リテラシー向上のための事業や、多世代交流を目的としたイベントや大会の実施など、利用者拡大に向けた取組みを行います。</p> <p>また、各施設の利用者拡大及び目的達成に向け、幅広く施設の機能を広報していきます。</p>
(2) 利用者の満足度
<p>「利用者アンケート」では、両学舎及び穴生ドームともに、令和元年度から継続的に 95% の目標値を超える非常に高い評価結果を得ているため、引き続き、年間コースのカリキュラムや行事の充実を図るとともに、ドームを利用した市民等の健康づくりの促進に努めます。</p> <p>また、管理施設の衛生的で快適な空間の維持・整備、職員研修等の充実により、利用者が満足できる環境づくりに努め、新規研修生への初期面談や意見箱の設置により、ニーズを的確に把握して、そのフィードバックを行い利用者満足度の向上に努めます。</p>
【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入

指定管理料については、業務改善等により効果的に経費削減を図るとともに、ボランティア・シルバー人材の活用により人件費を低減します。事業費についても、スケールメリットを活かした業務委託や予防保全型の維持管理を行い、施設修繕費の削減を図ります。また、受講料収入等を最大限確保するため、SNSを活用した、より一層の広報強化による受講生確保に努めます。

穴生ドームについては、適切な利用料金の徴収を行い、個人利用やイベントやスポーツ教室の拡充により、利用料収入の増に努めます。なお、次期指定管理期間中において約2年間、改修工事で休館となるため、再開後を見据えた利用料金改定についても検討します。

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

3施設の開設当初から管理運営を受託し、指定管理者として18年間にわたり管理運営を行っている実績を踏まえて策定する収支計画は、施設の設置目的の達成と経費面での効率性を両立し、実現可能性の高い計画となっています。

また、法人本部にて、予算を一元的に執行管理し、厳格かつ適正に実施することができます。

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

総括責任者として所長と、各施設に事業管理責任者を配置し、有資格職員の専門性と経験豊かなシニア人材の活用による適切な職員体制と役割分担により効率的な管理運営を行います。

また、法人本部のバックアップ体制により、総務、財務機能の集約をはじめ、職員の資質向上のための体系的な研修を実施し、利用者へのサービス提供の質の向上を図ります。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

【平等利用】

施設の利用受付にあたっては、地方自治法及び北九州市社会福祉施設の設置管理に関する条例等を遵守し、利用目的を確認の上、公平・平等な取り扱いを行い、利用者が重複した場合等においては、予め明示したルールにのっとり、公平な利用調整や抽選などで選定を行います。

さらに、利用者が指定管理施設として、高齢者、障害者、子ども、外国人等、あらゆる市民等が気軽に施設を利用できるよう、広報物等のユニバーサルデザイン化や環境整備等に配慮します。

【安全対策】

利用者の安全・安心を第一に、設備等の点検や修繕により適切な施設管理を行うとともに、セキュリティ対策を講じたクラウドの利用により、安全性の高いデータ管理と個人情報保護の徹底に努めます。また、施設内の防犯・防災対策については、必要な計画を定めると同時に、各種団体とのネットワーク、相互協定等を活用し、迅速な対応が可能な体制を整備しています。

【危機管理体制】

緊急連絡網、災害対策連絡網、BCP計画の整備をはじめ、防火・防災のための自衛消防組織の結成や、定期的に研修生等を含めた避難訓練及びAED講習を実施します。

(3) 社会貢献・地域貢献

【社会貢献】

研修生に対して福祉問題の啓発に努めるとともに、運営において高齢者の雇用拡大や、食堂運営や販売に協力することで障害者の雇用確保の支援を行います。

【地域貢献】

社会福祉施設や市民センターとの交流により、子どもから高齢者までの幅広い世代との交流活動に取り組むとともに、関係機関と連携し幅広い知識を持つ人材を育成します。

提案額（千円）

7年度	190,173千円
8年度	190,173千円
9年度	190,173千円
10年度	190,173千円
11年度	190,173千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。